

老人囲碁将棋大会を開催 熱い対局が繰り広げられる

町老人クラブ連合会（中村丈夫会長）主催の山田町老人囲碁将棋大会が7月9日、町中央コミュニティセンターで開かれました。大会参加者は、囲碁の部に13人、将棋の部に5人の腕に自信のある愛好家たち。開会式の後、中村会長の開始の掛け声とともに大会が幕を開け、選手たちは緊張感の漂う雰囲気の中、熱い対局を繰り広げました。なお、入賞者は以下のとおりです。

▷囲碁の部 優勝 山本誠（田の浜・62）、準優勝 関初己（長崎・63）、第3位 昆幸利（織笠・61）▷将棋の部 優勝 昆野壽雄（織笠・78）、準優勝 川村誠（織笠・61）、第3位 白土輝男（織笠・70） 《敬称略》



街かどギャラリーで絵手紙講座 エコな素材で季節の便り

7月13日、山田美術同好会（山根ノブ子会長）による絵手紙講座が中央町の街かどギャラリーで開かれ、30人が参加しました。古新聞のカラー部分を手でちぎりながらはがきに貼り付けていく「ちぎり絵」の手法で作る絵手紙は、文字やロゴを模様としてそのまま利用するなど独特の風合いが特徴。今回は作品が完成したときに押す落款印も使い古しの発泡スチロールを利用するなど、身近にある物を再利用して作るエコにこだわった絵手紙となりました。参加者は季節を感じさせる旬の物など思い思いにデザインすると、手紙の相手を思い浮かべるように丁寧に文をしたためては作品を仕上げていました。

前須賀で県相撲選手権大会開催 声援に応え本町選手が活躍

7月4日、第6回県体重別相撲選手権大会が前須賀公園相撲場で開かれました。県内の市町村対抗で争われるこの大会、本町からは団体戦に3チームと個人戦に10人が参加。会場には熱心な相撲ファンが駆け付け、本町の選手が登場するとひとときわ盛んな声援が上がっていました。結果、団体戦で予選リーグから決勝トーナメント準決勝まで順調に勝ち上がった山田町Aが、決勝で盛岡市Aに3-0で勝利し、見事この大会での初優勝に輝きました。個人では、重量級で五十嵐敦さん（大東文化大4年）が他を寄せ付けない力強い取り組みで優勝を果たしたほか、中量級の五十嵐正さん（田の浜）と軽量級の黒澤寛さん（田の浜）がそれぞれ3位に入賞しています。



力強い取り組みに場内から盛んな歓声が飛び交いました（上写真）／団体戦で初優勝を果たした山田町Aチーム（後列左から五十嵐正さん、黒澤寛さん、五十嵐敦さん）



今月の題字

佐藤 桜花 ちゃん
(大沢小3年)

田丁のあだい

町内小学生が海のパトロール 豊かな海の大切さを学ぶ

山田の海を守る会(会長・沼崎喜一町長)が主催する「海のパトロール」が7月8日と9日に行われました。子供たちに海の大切さを学んでもらおうと毎年行われているもので、町内の小学校から2日間で231人の児童が参加。山田漁港から観光船かもめに乗込み、明神崎やオランダ島周辺などを巡り湾内を一周しました。途中、町の水産担当職員から山田湾の水質などについて説明を受けながら養殖施設などを見学。「環境悪化の原因となるごみのポイ捨ては絶対にやめましょう」との呼び掛けに、児童らは自然を守る大切さを再認識していました。



町民有志がオランダ島を清掃 海開きをきれいな砂浜で

7月10日、オランダ島の清掃活動が行われました。海開きを前に海水浴に訪れる観光客に気持ちよく利用してもらおうと山田町観光協会(大杉繁雄会長)が毎年行っているもので、今回は清掃活動への協力の呼び掛けに集まった町民ボランティアなど40人が参加。砂浜に漂着したゴミを拾い集めたほか、桟橋側砂浜から頂上を通り西側砂浜へとつながる遊歩道の草刈りを行いました。昨シーズンオランダ島に訪れた海水浴客は約6,700人。参加者たちは今シーズンもより多くの人出でにぎわうことを期待しながら、清掃作業に汗を流していました。

陸中山田ライオンズクラブ 小学校に図書購入費贈る 子供たちの健全な成長願い

陸中山田ライオンズクラブ(小原^{よしあき}義明会長)では、山田南小と山田北小に図書購入費として5万円ずつを寄付しました。より多くの本に親しむことで子供たちに豊かな心を育んでもらおうと贈ったものです。贈呈式は6月21日に行われ、濱登^{ちやういちろう}長一郎前会長が「将来を担う子供たちの成長のために役立ててください」と両校の校長に目録を手渡しました。同クラブでは青少年の健全育成事業の一環として、2年前から毎年町内の小学校2校ずつに図書購入費を贈る活動を続けています。

